

様 式 F - 7 - 1

## 科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金）実施状況報告書（研究実施状況報告書）（平成 27 年度）

1. 機関番号 

3	2	6	0	4
---	---	---	---	---

 2. 研究機関名 大妻女子大学

3. 研究種目名 挑戦的萌芽研究 4. 補助事業期間 平成 27 年度～平成 29 年度

5. 課題番号 

1	5	K	1	2	1	6	3
---	---	---	---	---	---	---	---

6. 研究課題名 作家の計量分類による日本近現代文学史の構築

## 7. 研究代表者

研究者番号	研究代表者名	所属部局名	職名
4 0 5 7 9 1 8 2	タカハシ スミコ 高橋 寿美子	人間生活文化研究所	助手

## 8. 研究分担者

研究者番号	研究分担者名	所属研究機関名・部局名	職名
5 0 1 1 4 0 4 6	オオサワ セイジ 大澤 清二	人間生活文化研究所	所長

## 9. 研究実績の概要

本研究の目的は、日本近現代文学関連の辞書・事典や文学全集等に収録された伝記的事実に関する情報等をもとに、作家の属性を計量的に分析・分類し、現行の文学史上の分類と比較対照することにより、現在通行する文学史の検証を行うことである。逐次、収集・分析した情報をもとに「日本近現代作家属性データベース」（以下「データベース」と記す）の作成を進め、最終年度に完成させ、さらに、インターネットを通じて一般に公開する。なお、「データベース」に収録する内容は、明治期から昭和期に活躍した作家の属性情報である。初年度となる平成27年度は、以下のとおり研究を実施した。

現在刊行されている日本近現代文学関連の辞書・事典では、1冊の中でも、作家によって記述項目が異なっており、ある程度の知名度がある作家であっても、かなりのバラツキがある。そこで、そうした辞書・事典のうち、情報量が多く、代表的かつ定評のある『日本近代文学大事典』第1～3巻人名（講談社）、『日本現代文学大事典』人名・事項編（明治書院）、『明治大正昭和 作家研究大事典』（桜楓社）によって、どの作家が、どのような項目について記述されているかを調査し、その結果によって、「データベース」に収録する作家と最適な項目を選定しつつ、「データベース」への情報入力を開始した。

なお、収録する情報収集については、上に示した文献の他、『新潮日本文学辞典』（新潮社）、『新現代日本執筆者大事典』（日外アソシエーツ）、『近代文学研究叢書』（昭和女子大学近代文化研究所）、『明治文学全集』（筑摩書房）等の文学全集、各作家の個人事典・全集等を適宜使用した。さらに、『近代文学評論大系』（角川書店）、『文藝時評大系』（ゆまに書房）、『近代日本総合年表』（岩波書店）等、明治期から昭和期における文壇の状況や、社会全体の状況に関する文献・資料からの情報収集も行った。